

しんりんかんだより

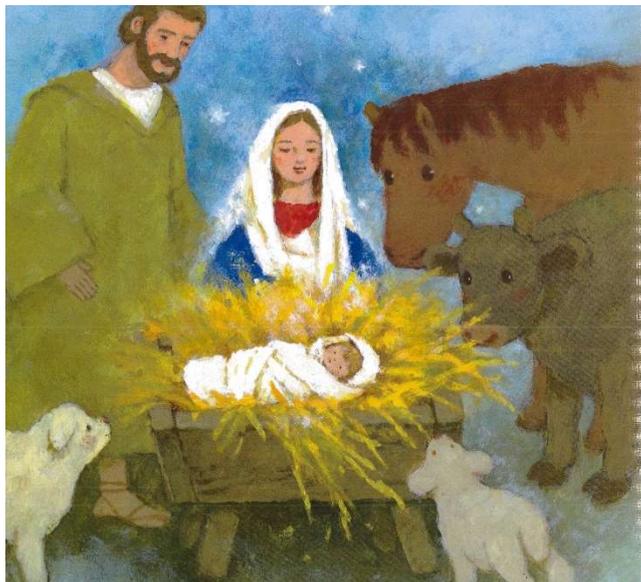
年主題

「共に喜んで」～すべての歩みの中～

月主題 3F/2F うれしいうれしい/喜びいっぱい

‘21 第9号 (vol. 57)

2021年12月1日発行



「クリスマスおめでとう」

朝、梅島駅から駐輪所に向かってしていると「先生 おはよございます～」と遠くから声をかける人の姿がありました。誰かなと目を凝らしていると「Sで一す」と手を振ってくれました。「Sさんおはようございます～行ってらっしゃい～」何気ない朝の挨拶ですが、とてもうれしい気持ちになり、保育園へ自転車を漕ぐ足取りが軽くなりました。この2年間地域活動の行事は殆どが中止となり、卒園児や保護者の方々とも会うことのできない日々が続いています。そんな中、何気ない朝の挨拶に離れていても繋がっているそんな思いを感じ、とても励まされ晴れやかな気持ちになりました。

会えなくても繋がっている、そんな思いは子どもたちの中にもあります。コロナが急増したこの夏、ずっと休んでいたお友だちが登園するようになったのに、再び長い休みに入ってしまった。しかし秋が終わりに近づきコロナが激減したことで、再び登園できるようになりました。すると直ぐにその友だちを受け入れ、昨日もあっていったように、いつもと変わらずに遊びに誘っていました。休んでも子どもたちの中には、いつも変わらずにクラスメートとしてSくんの存在があったのだと思います。離れていても繋がっている。この夏は休園等本当に辛い思いのあったコロナ渦でしたが、そんな心の繋がりを子どもたちから教えられ励まされた日々でもありました。

今、幼児組はクリスマスに向けて、イエス様が生まれた時のお話を劇として演じる降誕劇（ページェント）に取り組んでいます。光組さんは年長として、ひとりひとりがマリアさんヨセフさん羊飼い等々役の気持ちになって行っています。

先日公園で鬼ごっこをしている時、空き缶につまづいてT君が転んでしまいました。泣いているT君に「こんなところに缶があるからいけないんだ。私が誰もつまづかないところに置いてくるから・・・」と直ぐに公園の隅に缶を片付けてくれたSちゃん「もう大丈夫だよ」と背中をさすってもらいT君の涙も引っ込んでしまいました。普段は口調の強いSちゃんですが正義感の強い細やかで温かいハートを持っている事を仲間たちは知っています。

コロナ渦の辛さやいろいろな気持ちを乗り越えて、今年も「クリスマスおめでとう」と世界中のみんなと喜び合いたいと思います。

(主任 鹿糠正美)